

# GROW WITH ME.



桐生で子育てを  
楽しむための  
ガイドブック

## はじめに

今回のこのガイドブックの制作に取り組んでいる桐生市イクメン・プロジェクト推進チーム（KIP）は、平成23年度に桐生市と協働で事業を開始しました。市職員の父親と市民から公募で選ばれた父親10人が、市長に提言書の答申を行うことを目的として、様々な子育てにまつわる活動に取り組んできました。その中で、父親が育児を積極的に行うことは、地域への波及効果が大いことが分かってきました。当初任期は2年間でしたが、提言を実行するためにどうしたらよいかを行政と話し合う中で、平成25年度の1年間限定で、桐生市の子育て環境の情報発信を行うことになりました。

このガイドブックは、桐生に住む子育て中の父親目線で、観光案内などに載っている施設紹介などとは一線を画する、桐生の誇れること・楽しめる場所などを紹介しています。市外の方にとっては、桐生の子育て環境や観光情報を知る機会となるように、また、桐生在住の方には、改めて地域の資源を再発見してもらえるような内容を目指しました。

これまで活動に参加してきたKIPおよび事務局メンバーとその家族には、深いご理解をいただき活動を見守ってくれたことをたいへん感謝しています。ありがとうございました。そして、この子育てガイドブックが、読者の方々のより快適でのびのびとした子育てをする一助になればと願っています。

桐生市イクメン・プロジェクト推進チーム一同

## 行政関連の子育て支援の情報は「いきいき子育てガイドブック」をご覧ください

桐生市では、“子供を産み育てることに夢の持てるまち・桐生”を実現するために、『子供の健やかな成長』『家庭の賑わいと子育ての楽しさ増大』『地域の理解と意識の醸成』の3つの基本方針として次世代育成支援を推進しております。また、安心して子育てできるまちづくりに向けて、誰もがより身近なところで子育てについて相談できるように、子育て支援センター・保育園・幼稚園・学校・近所の人など、地域が子育ての応援をいつでもどこでもできる環境づくりにも力を入れております。

そのために、桐生市の子育て情報を少しでも分かりやすくお伝えするために、いきいき子育てガイドブックを作成しております。

設置場所は、市役所・保健福祉会館・子育て支援センター等にありますが、桐生市のホームページからもPDF版でご覧いただけます。

お問い合わせ先：市役所子育て支援課

### 主な情報

- 妊娠に関する情報：母子健康手帳、しあわせ妊婦健康診査受診票、妊産婦・新生児訪問講習など
- 出産に関する情報：出生届、出産育児一時金、児童手当、医療費助成制度、健康診査、育児相談など
- 保育園・幼稚園に関する情報：保育園・幼稚園一覧、子育てサロン、一時保育、教育相談など
- 小学校に関する情報：就学前健康診断・就学援助制度、学校一覧、放課後児童クラブ一覧など
- ひとり親家庭に関する情報：手当や医療費の助成、児童扶養手当、医療費助成制度など
- 障がいのあるお子さんに関する情報：身体障がい者手帳、療育手帳、医療費の助成、福祉サービスなど
- 急な病気やけがに関する情報：平日夜間急病診療所、休日当番医など
- 公園一覧 ●赤ちゃんの駅一覧



## GROW WITH ME.

桐生で子育てを楽しむためのガイドブック

## もくじ



### 教育 education

- サイエンスドクター … P4
- アフタースクール … P5
- 幼稚園・保育園 … P6~7
- あひるのこ・子育て支援センター … P8
- 教育 まとめ … P9



### 体験 experience

- 山のぼり … P10~11
- 魚つり … P12



### テーマパーク theme park

- 水族館・動物園・遊園地 … P13
- プール・スケート・昆虫の森 … P14
- コラム - 富士山 - … P15



### 鉄道 railway

- わたらせ渓谷鐵道 … P16~17
- 上毛電鉄 … P17



### 食 food

- キャラ弁作り … P18
- もんじ・おやつ … P19



### イベント event

- 桐生八木節まつり … P20~21
- あびす講・堀マラソン … P22

## 桐生市の教育環境

次代を担う人材の育成を図るため、桐生独自の理科教育として、群馬大学大学院理工学府の学生を講師とする「サイエンスドクター事業」が新たにスタートしました。また、国際社会にも対応できる人材を育むため、ALTの増員等で外国語に慣れ親しませる活動を充実させることにより、子供が体験的に言語や文化について理解が深められるよう努めています。『生きる力』を支える「確かな学力」・「豊かな人間性」・「健康と体力」など、知・徳・体のバランスのとれた児童、生徒の育成を目指し、子供の学びを重視したきめ細やかな指導に努めています。

また、市内で様々な体験活動を行ったり、調べ学習を行ったりすることなどを通して、「桐生を好きな子供」の育成を目指します。

## 新しい驚き発見！サイエンスドクター



中学生の理科力向上を目指し、桐生市内にある群馬大学と桐生市教育委員会の連携で平成25年度からスタートした「サイエンスドクター事業」。中央中・清流中・梅田中の3校を対象に、担当教諭と協力しながら理科の面白さを伝える授業づくりに取り組んでいます。これまでに3校で100回以上行われた同プロジェクトは、平成26年度より市内の全校で実施されます。

理工学府の学生と教諭が共同で開発したソフトを使い、パソコンの画面上に電流の大小を矢印の幅で、電圧の高低を矢印の高さで図示し、仕組みを説明。授業を受けた生徒から「理科はあまり得意ではないが、今日はイメージが描けて面白かった」と大好評でした。

## 子供たちの放課後を豊かな体験の場に。 きりゅうアフタースクール



桐生市イクメン・プロジェクト推進チームから発展したNPO法人キッズバレイは、子供を真ん中にした事業であらゆる世代をつなぎ、地域経済を活性化することを目的として設立されました。

子育て支援をするには、子育て世代の支援が重要であるとの考えから、子育て世代の「しごと」と「くらし」を応援する事業を展開しています。「きりゅうアフタースクール」では、地域で活動する様々な分野の専門家を「市民先生」として講師に招き、子供たちへの体験プログラムの提供を行っています。子供を預けながら様々な体験が可能で、パパやママのリフレッシュも出来ることから、子育て世代のくらしの支援になると好評です。



自然体験プログラムで秘密基地に登って遊ぶ子供たち

食体験プログラムでおやつ作りをする子供たち

### NPO法人キッズバレイの情報

NPO法人キッズバレイとは、子供を核にした事業活動であらゆる世代をつなぎ、地域経済を活性化することを目的として平成25年11月に設立されました。

URL : <http://kids-valley.org>

## 待機児童ゼロ！桐生市の幼稚園・保育園

桐生市には、たくさんの幼稚園、保育園がありますが、その特徴って何でしょうか？  
まずは、桐生市の幼児教育の特徴について教育委員会に聞いてみました。

- ・地域の小中学校との交流がある。
- ・地域の幼稚園として、行事等に招かれたりして地域の方・施設との関わりが多い。
- ・豊かな体験、自然とのかかわりを通して感動体験ができる。
- ・共同調理場からの給食を食べている、小学校へ入学したときスムーズである。
- ・保護者の送迎であるため、担任と顔を合わせて直接情報交換ができる。
- ・地域に開かれた幼稚園として、降園後に園庭を解放したり、毎週末就園児「遊びの会」を開催して子育て相談等も受けている。

など、園によって細かい特徴はさまざまですが、このように桐生市の幼児教育は素晴らしい点がたくさんあることがお分かりになっていただけたと思います。

パパ達が積極的な組織作りを行っている  
幼稚園・保育園に取材しました！

## お父さん大活躍！父ちゃん会で楽しもう

広沢保育園は、“げんきな子”“がんばる子”“やさしい子”を保育の3つの柱にし、「からだづくり」「自分づくり」「なかまづくり」をしています。

在園児のパパで構成された「父ちゃん会」があります。きっかけは15年前、中里園長が父親と何かをしたいと思って声をかけたこと。父親ならではのダイナミックな遊び方や父親が保育園に関わることが少ないことから思いついたそうです。活動としては、流しそうめん、夏祭り、もちつきなど1年間に4～5の園行事の準備。そして行事終了後の打ち上げが楽しみの一つ。会に入ったことで子供と話すきっかけができた、他の子供と自然に関われるようになったそうです。

今回は、8月に開催された夏祭りを取材。祭りの目玉であるお化け屋敷を製作中でした。暑い中、みなさん生き生きと作業され、きっと楽しい夏祭りになったことでしょう。



パパ達が作るお化け屋敷は本格的。  
渾身の作品、お墓はかなりリアル!!



準備が整い、いよいよお祭りがスタート！ご覧のように大盛況！  
手作りで心のこもった楽しいお祭りでした。

## 自然がいっぱい、動物いっぱい、 笑顔もいっぱい!!

すぎの子幼稚園は、おおぞら保育園と一体化し幼保一元化の幼児教育を展開しています。敷地には、ポニーがいる動物ランドがあったり、様々な昆虫を飼育しており、ホタル鑑賞会・オオムラサキ保護・ヤマメの放流などを行っています。豊かな自然体験を幼児教育に積極的に取り入れています。

すぎの子幼稚園・おおぞら保育園には在園児のパパで構成された「親父の会」があります。親父の会とは、平成10年に設立された組織で現在会員約40名。キャンプ以外にも流しそうめんや餅つき大会など様々な行事を行っています。親父の会1年目の山本さんは、「会に入ったことで子供と関わることの大切さを学んだ」そうです。

今回は、9月に1泊2日で開催された「秋の親子キャンプ」を取材。参加者は、総勢117名。園の敷地内にある芝生の「わんぱく広場」にたくさんのテントが設営されました。夕食は、パパが作ったカレーを食べ、その後、名物のドラム缶風呂に入りました。

知久園長のお話では、「キャンプを通して、家族同士の交流が増えた」そうです。家庭では経験することが難しい非日常の生活が、きっと家族にとってかけがえのない思い出になることでしょう。



テントスペースは沢山のテントで埋め尽くされていました。



手作りのツリーハウスも完成!



沢山の友達 & 家族と過ごす  
貴重な一日。  
最高の思い出です。



親父が作るカレーは大好評!



ポニーや豚、山羊もいました!



## ほっこり暖まる、絵本の森

本町5丁目、桐生ガスプラザ1階にある「あひるのこ」では、代表の三澤さんが乳幼児のために絵本の読み聞かせやわらべ歌遊びを行っています。通常は、火・金曜日に開催されており、10組程度のママと子供が参加していますが、「土曜日に開催し、休みのパパに参加してほしい」との要望に応え、「土曜あひるのこ」が開催されました。

この日は、5組のパパと子供の参加があり、わらべ歌や絵本の中にある音を表現しているような楽しい読み聞かせに子供だけでなく、大人もひきこまれ楽しい時間を過ごしていました。

あひるのこは、絵本の読み聞かせをして子供と有意義な時間を過ごしたいと思っているパパに是非おすすめです。きっと、読み聞かせの仕方や絵本を選ぶヒントがもらえること間違いなし。

場 所 桐生市本町5丁目365-1  
桐生ガスプラザ内1階  
あひるのこ  
日 時 火・金曜日の午前10時～12時  
(季節によって開催日変更あり。)  
参加費 無料  
詳しくはホームページをご覧ください。  
「桐生 あひるのこ」で検索!



## 桐生市子育て支援センター

子育て支援センターは、親子が遊び、くつろいで過ごせる場所です。子育ての不安や悩みが相談でき、子育ての情報も集まってきます。利用は無料ですが、初回のみ利用者登録が必要です。

場 所 桐生市末広町13-4  
桐生市保健福祉会館内 3階  
事業内容 子育てサロン・赤ちゃんサロン・巡回サロン・出前サロン・移動サロン・サークル支援・育児講座・子育て相談・子育て情報提供・支援センター通信・サロンだよりの発行  
\*事業により年齢・人数制限あり  
月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分  
土・日曜日 午前10時～午後4時  
TEL.0277-46-5031



## 地域で子供を育てる桐生の教育環境

- 待機児童ゼロ
- 各種団体による様々な体験プログラム
- 産学官民の連携
- 地域に根ざした保育・教育機関

桐生市では「子育て日本一」を目指して様々な取り組みを行っています。いなか暮らしの本(宝島社)の「住みたい田舎」ベストランキングでは、「子育てのしやすさ」部門(「子育て世代にぴったりの田舎」部門)で、2013年・2014年の2年連続で1位を獲得しています。

特に、市の最重要課題のひとつとして位置づけられている教育環境の充実については、これまでご紹介してきた様々な取り組み以外にも多くの活動が行われており、今後ますますの発展が期待できそうです。

乳幼児への子育て支援も充実しており、市内各所に授乳やオムツ替えが可能な赤ちゃんの駅を設置。保健福祉会館にある桐生市子育て支援センターでは、職員が中心となって様々なプログラムを行っています。ここで知り合ったママ同士の交流が続くなど賑わいを見せています。

未就学児が通う幼稚園や保育園には待機児童はおらず、自然環境を生かした特色ある活動が展開されています。市内各地に、市立幼稚園7園、私立幼稚園6園、市立保育園4園、私立保育園25園があり、市外から通う子供も多く、地域と連携した子育てを行っています。

市内全17小学校のハード面の設備は充実しており、エアコンは各教室に完備されています。放課後児童クラブは、全小学校区に設置。市民有志による公民館活動も盛んに行われていたり、総合的教育プログラムを親子で体験する「未来創生塾」などの取り組みもあります。

桐生市には、10校の公立中学校と2校の私立中学校、市立の商業高校はじめ全8校の高等学校に、国立の群馬大学理工学部もあります。教育機関、行政、産業界、PTAなどの連携による次代を担う子供たちを育む風土が、きっと子供たちの無限の可能性を拓くことになるでしょう。ゆりかごから巣立つまで、桐生で育つ子供たちを地域ぐるみで応援しています。

宝島社  
いなか暮らしの本

2013年2月号



「子育てのしやすさ」部門  
第1位!

2014年2月号



「子育て世代にぴったりの田舎」部門

2年連続  
第1位!!

山が呼んでるぜ！  
さあ、みんなの家をさがそう！

## 利平茶屋森林公園

利平茶屋から赤城山山頂跡まで 45 分コース

標高 1,000mの赤城山登山口にある利平茶屋森林公園。ここから元ケーブルカー山頂駅を目指す。途中、川を越え谷を越え、30分ほどで階段（写真①）へ到着。ここからが試練だ!!おっと、その前にちょっと階段を下りて御神水（写真②）を頂くのもイイね！さあ、ここから最後のひと踏ん張り。休み休みでも15分位で登れるかな?何段あるか数えても楽しいかもね！僕は途中で分からなくちゃったけど・・・(^\_^)

やったー登頂成功！山頂にはソフトクリームの販売店もあります。景色を眺ながら食べるソフトクリームは最高っす！みんなもためしてみてね!!



①終わりが見えない長い階段…頑張ろう!!



②御神水。  
美味しい水です！

利平茶屋内の登山口から元赤城山山頂駅がある鳥居峠の標高差は 400m。春や秋は肌寒いので防寒具はしっかり準備して下さい。

まだ、余裕があれば鳥居峠からは覚満淵、赤城大沼をめぐってみても楽しいでしょう。

ログハウスの管理棟を目印に、バンガロー、テントサイト、バーベキュー用の東屋があります。木立に囲まれた園内には鳥居川の清流があり、イワナ釣りが楽しめるほか、豊かな自然の中で、バーベキュー、ハイキングなど自然を100%満喫することができます。

お問い合わせ

桐生市黒保根町下田沢 1900-1 利平茶屋森林公園管理棟 TEL.0277-96-2588  
又は 黒保根支所 地域振興整備課 TEL.0277-96-2113 へ。



## 茶白山

ぐるっと一周して2時間コース

茶白山は標高 290mほどの山ですが、展望がよく 360度のパノラマを楽しむことができます。

コースは、南公園、宝珠院口、姥沢口、一木口の登山口から茶白山、八王子尾根を周遊するコースになっており、特に、南公園では梅林をはじめ、四季折々の花が訪れる人の心をなごませてくれます。



低い山だけど、山頂からの景色はとてもイイよ。何せ 360度パノラマだから最高だ！ボランティアの方が置いてくれた望遠鏡がいくつもある。本当に感謝！ありがとうございます。今回は八王子神社から登って山頂、そして尾根を歩いて粉山峠、南公園に出て神社まで戻ってきたよ。小さな子どもさんでも余裕だと思うよ！



車は南公園の駐車場に止めてスタートするのが良いでしょう。そこから道を下って最初の信号を左折。道なりに歩いているとハイキングコースの案内図があります。今回ご紹介したルートは姥沢口から入るルートです。

## さかな、さわったことある？ 親子で釣りに出かけよう！



**釣り堀「清滝」**  
桐生駅から車で30分。大自然の中で釣り体験！



桐生市川内町の北、川のせせらぎとともに山道をぐんぐんとのぼっていくとそこにあるのが釣り堀「清滝」。群馬県が誇る高級ニジマスのギンヒカリでも有名。きれいな清流と木々のみどり、この自然があるからお魚が元気に育つんだね。

お店で釣りに必要なものは用意してくれるから手ぶらでも大丈夫！さあ、釣りを始めるよ。まず、釣ぎおに「ねりえ」をつけて…周りの人の釣り糸にからまらないように注意しながら釣り堀へ投入しよう！ほら、魚がチヨンチヨンつついている感覚、分かるかな？「グッ！」と引っ張られる手ごたえがあったら素早く釣ぎおを持ち上げる！ほら、ニジマスが釣れたよ！それ、魚の口から針を外すよ。これが結構大変かも！挑戦してみてね！



釣り堀「清滝」  
桐生市川内町 5-4210  
TEL.0277-65-8452



釣ったニジマスは焼いてもらえるよ（^o^）／

# テーマパーク

## 親子の絆を創り出すテーマパーク！



水族館名物と言えば、「剥製？」と思うほど動かないメガネカイマン。そして、中央の大型水槽には、昔はウミガメが泳いでましたが…行ってみたいのお楽しみ！

### 水族館（桐生が岡動物園内）

桐生が岡公園と言えば遊園地と動物園に入場料無料で入ることが出来るのが有名ですが、その中でもあえてオススメしたいのがこの『水族館』でしょう！今でこそ交通の便が良くなり、海まで行きやすくなりましたが、海無し県でも気軽に海水魚が見れるので、とても貴重な場所です。

初めての人は「えっ!? ここが水族館?」と思うような小さな佇まいです。いざ水族館の中に入ると沢山の動物の標本と沢山の動物の卵。ダチョウの卵が印象的です。その奥の扉を開けるとジャングルを思わせる様な水族館！子供達にとってはドキドキ、ワクワクするのがこの場所です。桐生育ちのみなさんには子供の頃から当たり前のように連れていかれ、今は子供を当たり前のように入れて行く、とてもなじみ深い場所ですが、あらためてよく見るとピラニアや熱帯魚、亀など様々な魚達が泳いでいる不思議な世界です。ぜひじっくり観察してみては?!

### 動物園・遊園地

遊園地に入ると真っ先に目に入るのが蒸気機関車！噴水を中心に数々のアトラクション。バイキングや観覧車で楽しんだ後は、となりの動物園へ。

ペンギン、フラミンゴ、ライオンやキリンやゾウ！ 沢山の動物達が待ってますよ！



桐生が岡遊園地  
桐生市宮本町 4-1-1 TEL.0277-22-7580  
桐生が岡動物園  
桐生市宮本町 3-8-13 TEL.0277-22-4442



## 真冬も泳げる室内プール カリビアンビーチ

ごみ焼却施設の熱を再利用したECOな温水プール。南国のイメージで開放的な気分を味わえ、アトラクションも多彩です。

流れるプールはおしゃべりをしながら流れに任せ一周 150mの旅ができます。

波のプールは迫力のある何種類かの波が現れます。時間帯によってはボディボードもできます。

ロデオマウンテンはダイナミック滑り台。3コースあります。



ウォーターライダーは80m程の距離をあっという間に滑り抜けます。

大人にはジャグジーバスがオススメ。ゆったりと日頃の疲れを癒せますよ。

子供だけではなく大人も楽しめる人気のアトラクションが揃っていて1日があっという間です。

桐生市新里町野 461  
桐生市新里温水プール（カリビアンビーチ）  
TEL.0277-70-2121

## スケートセンター

桐生市東 7-3-50  
桐生スケートセンター  
TEL.0277-44-9317  
(冬季のみ)

桐生スケートセンターは、東毛地区唯一のアイススポーツ施設。47m×24mという広々とした室内リンクです。フィギュアスケートとアイスホッケーの靴が選べます。

子供にカッコいい所を見せるのに最高のテーマパークです。足がガクガクになるまで楽しめます。怪我をしないよう程々に...



## 昆虫の森

桐生市新里町鶴ヶ谷  
460-1  
ぐんま昆虫の森  
TEL.0277-74-6441

自然に囲まれた山林の中で、春夏秋冬、昆虫達と自然の中でふれあうことが出来ます。普段見ることできない昆虫の生態系や珍しい昆虫が観察できます。映画ホールや温室もあり、映像や自然の中を探検しながら子供と一緒に昆虫について学ぶことができます。



## 桐生にある富士山で夢を語ろう！

桐生市相生町にある富士山下駅の真ん前に富士山（標高 163m）があります。漢字は世界遺産入りした富士山と同じですが「ふじやま」と読みます。この「ふじやま」に今注目が寄せられています。

(以下「ふじやま」「ふじさん」と平仮名表記)

実は富士山と名の付く駅は日本に2つしかなく、1つは山梨県にある富士山駅、そしてもう1つが桐生にある富士山下駅です。過去に「ふじさん」と間違えて来てしまった海外の方がいたそうで・・・。

この「ふじやま」には不思議なことがいっぱいあります。例えば、七合、七合、九合の石碑など、「ふじさん」を思わせるものがあるかと思えば、高尾山という石碑があったり・・・そこで、「ふじやま」世話人の北村さんに取材してきました。

1560年に「ふじさん」を霊視し、信仰の対象としていた「富士講」という山岳信仰があり、富士登頂が重要な行になりますが、誰でも簡単に行けないため、「ふじやま」を「ふじさん」に見立て浅間神社を祀り、信仰の対象としていたようです。戦後、一度は途絶えた山開きが近隣で疫病が流行したのをきっかけに再開されるようになりました。今年(2013年)は、7月7日に行われ、町内会の方を中心に40人程度集まったそうです。また、高尾山の石碑は、高尾山にも浅間神社があるからのようですが、はっきりしたことは分からないそうです。

今回、「ふじやま」を取り上げたのは、注目を浴びているということだけではなく、駅から近いという利便性の良さや、子供の足でも10分もかからず登頂できてしまうという点です。子供は自分で登ることができたということがきっと自信になると思います。そして、「ふじさん」に2回登頂し、ご来光を拝んだ自身の経験から、ぜひパパにおすすめしたいことがあります！七合目付近に設置されているベンチからは桐生市街が遠く見渡すことができます。子供とベンチに座り、景色を見ながら「いつか世界の「ふじさん」と一緒に登ろう」と夢を語ってほしいということです。ここでの思い出が原点になって、夢のある楽しい親子関係が築けるのではないのでしょうか。

こんなたくさんの魅力が詰まった「ふじやま」にぜひ子供と一緒に訪れてみてください。きっと子供もパパも元気になれることでしょう！パワースポットになること間違いなしです。



上毛電鉄の富士山下駅。踏み切りの鐘の音が最高です。今も稼働中の電鈴式警報機は関東では2機のみ。



「ふじやま」の登山口。



九合の石碑(左)と高尾山の石碑(右)。



登山道は階段があり、子供でも登りやすい。



小さな山ですが、景色はパッチリ！子供達の満足そうな後ろ姿。



## 話題のわ鐵で トロッコ列車の旅

今回紹介するのは、話題の「わたらせ渓谷鐵道トロッコ列車」です。

各雑誌・TVでもお馴染みですが、今回乗車するのは平成24年から運行始めた「トロッコわっしー号」です。ちなみに、わっしー号が出来たおかげで、桐生駅から終点までトロッコ列車が走るようになりました。まず車内のご案内です。

2種類のトロッコ列車がお待ちしています！



▲トロッコわたらせ渓谷号 3、4号  
▲トロッコわっしー号▲ 1、2、5、6号 (冬期：3、4号)



1号車 窓ガラスのない車両



2号車 窓ガラスのある車両



先頭車両にある「疑似運転台」は子供に大人気！ながめも最高です。

桐生駅 9時50分発「わっしー1号」、指定席ではないので、好きな席に座るため発車1時間前でもうすでに行列が出来ています。ちなみに、座席定員制という方式で、トロッコ車両分しかチケットを発売しませんので、チケットを購入出来れば確実に座れます。

さて出発です。取材日が8月の中旬だったので、朝から暑かったのですが、列車が動き出すと冷たい風が車内に吹きます。とても涼しい。列車はどんどん山間部に。車窓も緑がいつぱいの森林浴状態で、子供たちも「渡良瀬川」の流れを堪能しています。

途中、駅のない所で列車速度が遅くなる所がいくつもあります。これは沿線の観光スポット・名所をゆっくり見られるようにしているためです。さらにアテンダントの説明もあり、子供でもじっくり見られます。

車内では売店があり、ここでは飲み物はもちろん、わ鐵のキャラクター「わっしー」のグッズも販売しています。



そして、列車の旅のお供と言えば、「駅弁」ですね。神戸駅で駅弁が購入出来ます。昔ながらに車内からでも買えますが、数量限定のため、確実に購入したい方は事前に電話予約がおすすめ。今回購入したのは、大人は「トロッコ弁当」(P17 写真①) 子供は「やまと豚弁当」(P17 写真②) にしました。地元産の材料で作られています。トロッコ弁当は、おかずが多くビールのつまみにぴったりです。一方やまと豚弁当は、お肉が柔らかく食べ応えがあります。それに、このやまと豚弁当は2つの特典があります。1つはパッケージ裏に「沿線ガイド」が書かれています。それともう一つ、「手拭い」が付いてきます。ちょっとしたお土産になります。どちらもとても美味しく、大人気です！



上 トロッコ弁当 (写真①)  
右 やまと豚弁当 (写真②)

さて、旅の最後に全国的にも珍しい、「駅の温泉」に寄りました。場所は、水沼駅構内にあります。露天風呂(営業日要確認)があり、食事も出来ます。旅の最後の締めくくりには、最適です。

今回の乗車は夏でしたが、紅葉時期もお勧めです。ちなみに冬はトロッコ車両にも窓ガラスが付き、防寒対策もバッチリです。

わたらせ渓谷鐵道 TEL.0277-73-2110  
レストラン清流(駅弁)TEL.0277-97-3681  
水沼駅温泉センター TEL.0277-96-2500

## 四季折々、 上毛電鉄に乗ろう！

上毛電気鉄道は西桐生駅と中央前橋駅を結ぶ25.4kmの路線。西桐生駅では上電オリジナルのグッズも販売中。上電の特徴は何と言っても「サイクルトレイン」。平日朝夕の通学時間を除く、すべての時間で自転車と一緒に乗車できます。

おすすめの休日の過ごし方は、季節ごとの「デコトレイン」に乗車して新里駅で降り、そこから「カリビアンビーチ(駅から約2.5キロ)」や「ぐんま昆虫の森(約3キロ)」、「山上城跡公園(約2キロ)」に自転車で遊びに行くコース。自転車ならのんびり進んでも時間がかかりません。

ちいさなお子さんを自転車の後ろに乗せて行くなら、山上城跡公園をおすすめします。大きなローラー滑り台やアスレチック、芝生広場で思う存分遊ばすよ！

- ・桜電車 3月中旬から4月中旬
- ・あじさい電車 5月中旬から6月中旬
- ・風鈴電車 7月上旬～8月末日
- ・水族館電車 通年
- ・七夕まつり号 6月中旬～7月中旬
- ・昆虫の森号 3月上旬～5月中旬 ぐんま昆虫の森とコラボ
- ・ハロウィーン電車 9月下旬～10月末日
- ・クリスマストレイン 11月中旬～12月25日まで
- ・おひなまつり号 2月中旬～3月中旬
- ・上電うごくギャラリー-児童絵画展 夏休みの課題で沿線市小学校から応募した絵画展示 10月～11月まで



自転車も一緒に乗れます！

上毛電鉄 本社  
TEL.027-231-3597  
西桐生駅  
TEL.0277-22-3201

キャラ弁を作ろう！キノピー編

食も大事な地域の特色！ということで、今回私たち KIP のメンバーがキャラ弁作りにチャレンジしました。モチーフは桐生のゆるキャラ「キノピー」。桐生市健康づくり課管理栄養士の方にご協力頂き、教わりながら作ってみました。慣れない手つきで苦戦しましたが、味も見た目も大満足の仕上がり！ぜひご家庭でも家族みんなで作ってみてください！



材料：●正方形の容器（写真は縦横 12cm、深さ 3cm を使用）●ごはん 200g●とりそぼろ（3人分）とりひき肉 150g、水 100cc、みりん小さじ 2、めんつゆ 3 倍濃縮小さじ 3、しょうがひとかけ●さつまあげ 1 枚（湯通し後、軽くあぶる）●きゅうり 1/5 本●レタス 1 枚●ミニトマト 1/2 個●魚肉ソーセージ 1 片●のり少々●大根少々（ゆでて薄くスライス）●紅シヨウガ少々●ブロッコリー（ゆで済）1 房



桐生市マスコット「キノピー」



そぼろとごはん以外の材料はこんな感じ。



1 まずはとりそぼろ。材料を全て入れてから火を付けるのがポイントです。軽くかき混ぜながら煮ます。



2 容器にごはんをよそったら、ノコギリ型にスペースを作り、写真のようにきゅうりでブロックします。



3 さつまあげの端の部分を写真のように細くカットし、きゅうりが隠れるように上に乗せていきます。



4 ノコギリの隙間にレタスを詰め、ごはんの上にとりそぼろを敷き詰めます。ここからが仕上げの細かい作業。



5 魚肉ソーセージを薄く切り、目と口の形に切り抜きます。目の部分は同じ形に切ったのりに乗せ、さらに大根で目の白い部分を作り、乗せます。バランス良く配置し、紅シヨウガでほっぺを、ブロッコリーで手を表現。ミニトマトは太陽のイメージです！

慣れない手つきで苦戦しつつも大満足の完成度！！



もんじゃじゃないよ、もんじだよ！



桐生っ子が子供の頃よく食べていた『もんじ焼き』。この名称はもんじゃ焼きの原型で、桐生や伊勢崎、栃木の一部で今も残っています。今では数が減ってしまいましたが、桐生の多くの駄菓子屋さんには鉄板があり、子供達がおやつに食べていました。なので価格も 100 円程度。具はほとんど入っておらず、土手は作りません。基本はベビースター等のフライ麺と極少量のキャベツのみ。トッピング形式の店も多く、カレー粉やガーリック粉などを 1 杯 10 円程度で足して自分好みの味を作っていくスタイルです。



ベースの汁を作ろう！

水は少しずつ小分けに！

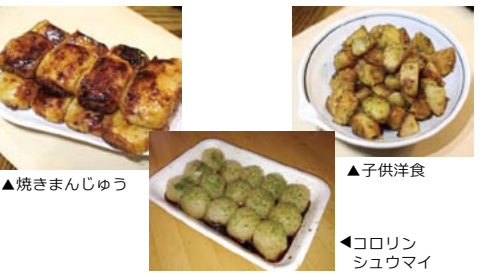
今回は糸屋通りで年 2 回開催される『糸ヤ通りいらっしやいませ』のもんじ焼きコーナーにて、作り方のコツを取材してきました。桐生市役所の近くにあったお店「さんどう」さんに教わったそうす。小麦粉にほんの少し水を加えて溶くのを繰り返す。ポイントはとにかくダメにならないように丁寧に。6~7 回繰り返す、ペースト状になったらとろみが無くなるくらいタツプリの水を加え、ソースまたはしょうゆを適量加えて味付けをし、完成。

作り方は簡単なので、ご家庭で子供達と一緒に楽しんでみてはいかがですか？ 大きなおせんべいが出来れば子供も大喜び、パパもあつという間にヒーローに！！トッピングに小さく切ったお餅やチーズ、そぼろやキムチなどもオススメ！いろいろな味が楽しめますよ！



そしてこれが醍醐味！おせんべい！コツは出来るだけ油を引かないこと。下の方が焼けてきたら薄く残すようにし、上の柔らかい部分は鉄板の空いた部分に撫でつけ、別のおせんべい。こんがり焼けたらゆつくりはがして出来上がり！！

桐生で有名な食べ物と言えば、幅の広いうどんの「ひもかわ」、「ソースかつ丼」などですが、子供達のおやつもなかなか特徴的！まず群馬と言えば「焼きまんじゅう」、桐生と言えば車で販売に来る「コロリンシュウマイ」、そしてゆでたポテトをネギと干しえびを加えてソースで炒めた「子供洋食」など、特徴のあるものが沢山！みんな茶色いものばかりですが…



桐生の夏といたら、  
八木節まつり！八木節音頭！



1656年を起源をとし、350年以上も続く優美な桐生祇園祭は関東の三大夜祭りと言われ市民に親しまれています。関東最大級の鉦が祇園囃子を競う「鉦の曳き違い」は、荘厳でありながらも華やいだ雰囲気包まれます。桐生の伝統を子供たちにも味わって欲しいですね。

桐生市の夏の一大イベントである「桐生八木節まつり」は、昭和39年に春の商工祭・文化祭、夏の祇園祭・七夕祭・花火大会、秋の桐生祭・体育祭・恵比寿講、その他の地域の祭礼などをまとめて、第1回桐生まつりとして開催されました。その後、昭和63年に桐生八木節まつりと改称し現在にいたっています。本市最大のイベントである桐生八木節まつり期間中は、市内各所での八木節おどりのほか、子どもみこしまつりや全日本八木節競演大会・ダンス八木節・ジャンボパレードなど市民が一体となった多彩なイベントが繰り広げられ、約50万人近くの人出で賑わいます。

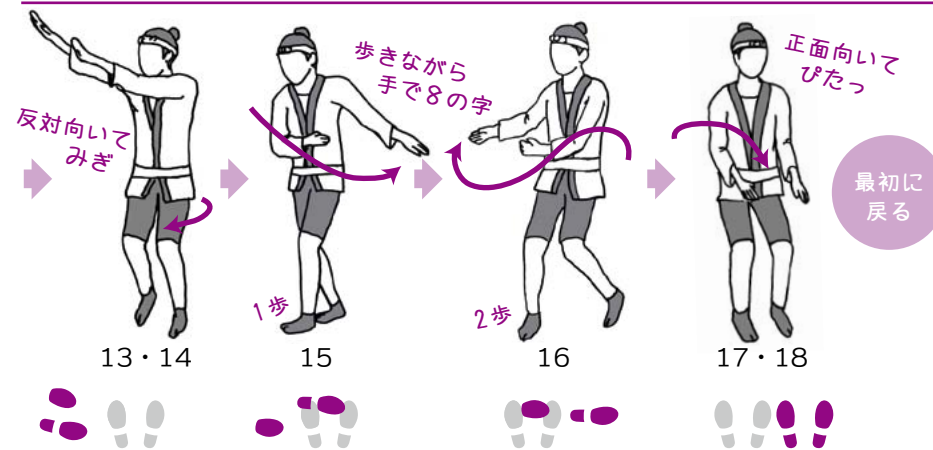
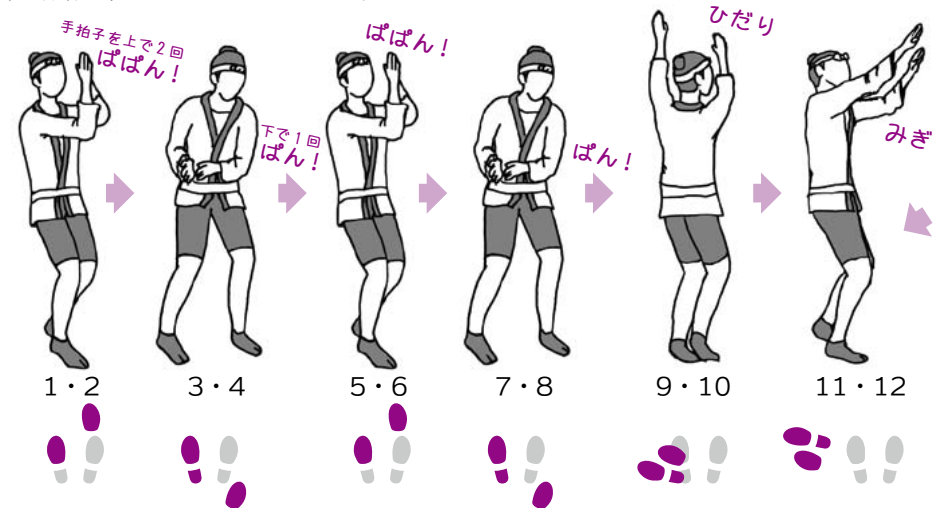


古くから織物の街で全国に名を馳せた「織都桐生」にふさわしく、手作りのまゆ玉を転がして本町通りでタイムを競い合う「まゆ玉ころがし大会」など、子供たちが参加できるイベントが多いのも桐生八木節まつりの特徴です。

期日：毎年8月第一金曜～日曜日の3日間開催  
場所：桐生市街地（本町・末広町）  
問い合わせ先：桐生市産業経済部観光交流課  
TEL0277-46-1111

八木節の踊り方をおぼえよう！

八木節音頭に合わせてみんなが踊っている八木節踊り、見ていただけじゃつまらない！踊ってみたいくなりますよね！さまざまな踊り方がありますが、今回は一般的な手踊りを解説します。簡単な動作の組み合わせなので、すぐに覚えられますよ！！



踊りはオーソドックスで簡単ですが、特徴は一連の流れがなぜか18拍ということ。曲は4拍1小節なので、4の倍数がキリがよいのですが、2拍余るため、曲と踊りがどんどんずれていきます。なので「曲のこの節で手拍子」という覚え方は成立しません。曲を聴いて踊るよりも、リズムのみを合わせ、この一連の踊りを繰り返すと思った方が、早くマスター出来るでしょう。



YouTube kiryuchannel にて動画で見ることが出来ます！

## 桐生市の冬の風物詩 「えびす講」

桐生市の冬の風物詩「えびす講」。

明治34年11月20日にえびす総本社である兵庫県西宮市の西宮神社から分霊勧請されたことが始まりで、関東で唯一の直系分社だそうです。

その桐生西宮神社で毎年11月19日から20日にかけて行われるえびす講は、威勢の良い掛け声の熊手やお宝の店が並び、夜遅くまで多くの参拝客で活気がみなぎっています。神社下の山手通り参道から本町通りまでは歩行者天国となり、狭い道に多くの露店が立ち並び、歩くのに一苦勞するほど混雑します。その昔は、見世物小屋の興行が行われるなど、独特の雰囲気がありました。



期日：毎年11月19・20日  
場所：西宮神社（宮本町二丁目地内）  
交通：JR両毛線桐生駅より徒歩約15分  
主催者：西宮神社  
問合せ先：桐生市産業経済部観光交流課 TEL0277-46-1111  
西宮神社 TEL0277-22-4395

## もうひとつの冬の風物詩 堀マラソン

「桐生市堀マラソン大会」も桐生の冬の風物詩のひとつ。桐生市体育協会初代会長・堀祐平氏の業績をたたえ始められた冬の一大イベントは、市民のマラソン大会として親しまれております。3kmのファミリーの部では、家族と一緒に走るほほえましい姿やスポーツチームの仲間同士、仮装したランナーの姿なども見受けられます。今大会は60回記念として、桐生市出身のファッションデザイナー高橋盾氏が参加賞のTシャツと記念品のマフラータオルをデザインしたこともあり、過去最高の1万人を超えるエントリーがありました。残念ながら大雪のため中止となりました。



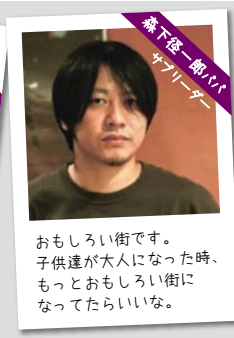
期日：毎年2月上旬  
コース：新川公園を発着点とする本町通りコース  
主催：桐生市、桐生市教育委員会、公益財団法人桐生市スポーツ文化事業団  
問合せ先：桐生市堀マラソン大会実行委員会事務局  
桐生市教育委員会 管理部スポーツ体育課  
TEL0277-46-1111

## 3年間活動してきた 桐生市イクメン・プロジェクト 推進チームのメンバーたち

10人の  
パパ



子供の成長を  
楽しもう!!



おもしろい街です。  
子供達が大人になった時、  
もっとおもしろい街に  
なっていたらいいな。



なに食ってもうんめえよ!



KIPの取組みをきっかけに桐生市のイクメンたちが、桐生市の子育て環境、ひいては桐生市にイノベーションを起こすことに期待しています!!



一度、桐生へお越しください!!豊かな自然と文化があなたをおもてなしますよ。



桐生で子供と共に成長!  
緑あふれる桐生へようこそ  
やっぱモンジだね ^\_^



子育て 歴史 教育の  
“桐生”には是非おいで  
ください。



この子が生まれた時、  
育児休業取得しました。  
子供の成長と笑顔が  
何よりです!



「楽しい子育て」を  
もっと桐生で  
楽しみましょう!!



子育ては、自分が子供に  
戻れる良い機会です。  
どうせなら一緒に  
楽しみましょう。

桐生で子育てを楽しむためのガイドブック

『GROW WITH ME.』

平成26年3月 初版発行

企画／桐生市保健福祉部子育て支援課

〒376-8501 群馬県桐生市織姫町1番1号

TEL. 0277-46-1111 (代表)

編集・制作／桐生市イクメン・プロジェクト推進チーム

協力／桐生市・桐生市教育委員会・広沢保育園・新里おおぞら保育園・すぎの子幼稚園

あひるのこ・株式会社宝島社・釣り堀「清滝」・わたらせ渓谷鐵道株式会社・

上毛電気鉄道株式会社

印刷／太陽印刷工業株式会社

# 群馬県桐生市

桐生市（きりゅうし）は、群馬県の南東部に位置する市の一つ。関東平野の北端の一角にあり、北部には赤城山地や足尾山地が連なる。市内には渡良瀬川や桐生川が流れる。

地域の7割以上が山地で、少ない平地の大半が人口集中地区となっており、桐生市街地は、桐生川が足尾山地から関東平野に流れ出す地点に形成された集落を基礎として発達している。地名の由来は、「桐が多くなる土地」から「桐生」とも、「霧が多く発生する土地」から「霧生」とも言われている。

現在、新里地区・黒保根地区（旧新里村・旧黒保根村、平成17年に桐生市に編入）は、旧桐生市地区とは間みどり市を挟む形の飛地となっている。平成の大合併以前の旧桐生市の面積（137.47km<sup>2</sup>）と、飛地として加わった旧新里村・旧黒保根村の合計面積（137.10km<sup>2</sup>）がほぼ同じであり、このような大規模な飛地のある自治体は日本でもめずらしい。市域人口は約12万人。

## ●概要

日本を代表する機業都市であり、奈良時代から絹織物の産地として知られ、上毛かたで「桐生は日本の機どころ」と詠まれるなど、桐生織は京都・西陣の西陣織と並び称された。製糸、撚糸、染織、縫製など、繊維に関する様々な技術が蓄積していることから「織都（しょくと）桐生」とも言われる。絹織物の繁栄により蓄えられた富は、桐生明治館・桐生倶楽部・水道山記念館など多くの文化財や市営桐生が岡公園、大川美術館などを生んだ。また、市内にはのこぎり屋根の織物工場や土蔵造りの店舗など多くの歴史的建造物が残っている。

市の将来都市像は、「伝統と創造、粋なまち桐生」。絹織物によって育まれた高い技術によって、自動車部品やパチンコ関連部品などの機械金属産業でいくつもの優良企業が誕生した。また、高い下水道普及率に見られるよう都市基盤の整備の推進や群馬大学理工学部を核とした産学官連携による新産業の創出、さらに豊かな自然などの資源を生かした施策が積極的に進められている。

野球が盛んで「球都」とも呼ばれる。市内には甲子園で全国制覇を経験した桐生第一高等学校や、準優勝を二度果たした群馬県立桐生高等学校があるほか、硬式野球部を持つ7校中5校が甲子園を経験している。

長く桐生競艇からの収益に依存し、大型工場の誘致に熱心でなかったことや、相次ぐ優良企業の市外流出による雇用環境の悪化、また少子高齢化などの理由により、現在では、人口減少という深刻な課題が生じている。さらに、モータリゼーションの進展や郊外にできた大型ショッピングモールにより中心市街地の空洞化も問題となっている。

市では人口減少に歯止めをかけるため、平成26年度から定住促進や第3子以降の保育料の無料化や住宅取得支援など様々な事業を本格実施する。また、中心市街地における空洞化対策として空き店舗や歴史的建造物を利用した活性化も図られている。

## ●歴史

絹織物の歴史は古く、奈良時代には既に朝廷へ「あしぎぬ（絹）」を献上したと記されている。現在の川内町はかつて仁田山と呼ばれ、仁田山紬の産地として知られた。この地には、京から移り住んだ官女白瀧姫が、人々に織物の技術を伝承したとされる「白瀧姫伝説」が語り継がれている。織物業はその後の桐生の発展の基盤となり、現在に至っている。

『吾妻鏡』などの文献によれば、平安時代末期に桐生六郎の名が見えることから、地名としての「桐生」は平安時代には既に存在していたと考えられている。

1350年には桐生氏（藤姓足利氏の系統）の始めとされる桐生国綱が柄杓山（城山）に柄杓山城を築き、1500年代中ごろに桐生氏の全盛期を築いた桐生助綱の名が見られる。桐生氏は1500年代後半に由良成繁によって滅ぼされ、以降成繁は柄杓山城を本拠としたが、子の国繁の時に豊臣秀吉の小田原征伐により領地替えが行われ廃城となった。

1600年、関ヶ原の戦いの折、桐生領54ヶ村から徳川軍へ2410匹の旗絹が献納された。徳川軍は大勝を取めた事で、織物生産地としての桐生の名声が高まり、桐生領54ヶ村は賦役免除になったといわれている。

現在の市街地が形成されたのは1591年、徳川家康の家臣であった大久保長安の命令を受けた大野八右衛門尊吉により町立てが行われた。渡良瀬川と桐生川に挟まれた扇状地に桐生天満宮を基点として桐生新町が形成され、絹織物業の発展とともに市街地は郊外に広がっていった。起点となった天満宮を含む現在の本町1、2丁目は当時の敷地割り製織町としての多様多様な建物が多く残り、平成24年には国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている。

近世における織物業は、物納であった小物成が納納に替わったことで市が開かれるようになり、桐生の絹産業は繁栄した。また、開国により、商人は海外に製品を輸出するようになり、海外から新しい織機や技術を持ち帰った。マニユファクチュアを導入し大規模な織物工場も多く存在した。絹織物業は、明治・大正・昭和初期にかけて日本の基幹産業として発展し、外貨獲得に貢献した。桐生の織物を象徴するのこぎり屋根工場は、大正から、昭和初期に建てられた。現在でも、200棟以上が残っているとされるが、繊維産業の衰退により減少し続けている。戦後は、和装離れから絹織物業は下火となったが、近年は、織物業で培った技術から発展した機械金属産業の企業が多く集積している。また、かつては主要遊技機メーカーが本市に本社を構えていたことから、遊技機関連産業も多い。市内には独自の優れた技術を持った小規模企業者も多く今日の「ものづくりのまち桐生」を支えている。



### 《車ご利用》

- 東北自動車道  
佐野・藤岡ICから約1時間
- 北関東自動車道  
太田敦塚ICまたは  
太田桐生ICから約20分

### 《東武鉄道ご利用》

- 浅草から新桐生駅まで  
「りょうもう号」で約1時間40分

### 《JRご利用》

- 高崎駅から桐生駅まで  
両毛線で約45分
- 小山駅から桐生駅まで  
両毛線で約55分